

かいご かにてい
介護過程って
なんですか？

せい かい かつ
生活がしたい！
じぶん
自分らしい

かいご かにてい つか
介護過程を使って
かんが
考えましょう

この手引を
まな
学びましょう

むずか
難しそうですが、
がんばります！



かいご ふくし しこうほしゃ
EPA介護福祉士候補者が
かいご かにてい りかい
介護過程を理解するための
てび
手引き

この手引きについて

手引きの目的

この手引きは、EPA介護福祉士候補者の皆さんが、介護過程の展開について理解することができるように作りました。

*展開：順番に進めること

手引きの使い方

受入れ施設で就労を始めてから、6か月～1年ぐらいのEPA介護福祉士候補者が使えるように、日本語をできるだけやさしくしました。

介護過程は、介護導入研修テキスト第1章2-3にも説明がありますので、読んでください。

また、わからない言葉があったら、訳もありますので、見てください。(P21)

手引きを読んだ後で

介護過程について詳しく書いてあるテキストを読んで、もっと勉強してください。

1. 介護過程ってなんだろう？

皆さんは、「介護過程」について考えながら、毎日の介護の仕事をしていますか。

介護の目標は利用者一人ひとりが希望している生活、利用者にあった生活ができるようにすることです。介護過程は目標を達成するための考え方のプロセスです。

*達成：計画や目的をやり終えること *プロセス：過程。始まりから結果まで進む様子、順序

これから皆さんが介護福祉士として働くためには、「介護過程に基づいた介護」ができるようになることが大切です。

皆さんが介護の仕事をはじめた時、施設の人から利用者一人ひとりに合った介護の方法を教えてもらったと思います。その介護の方法はどうやって考えたと思いますか。

これは、皆さんの先輩が、利用者一人ひとりの状態を理解して、考えた方法です。これが、「介護過程に基づいた介護」の方法です。

これから、介護過程について、一緒に見ていきましょう。

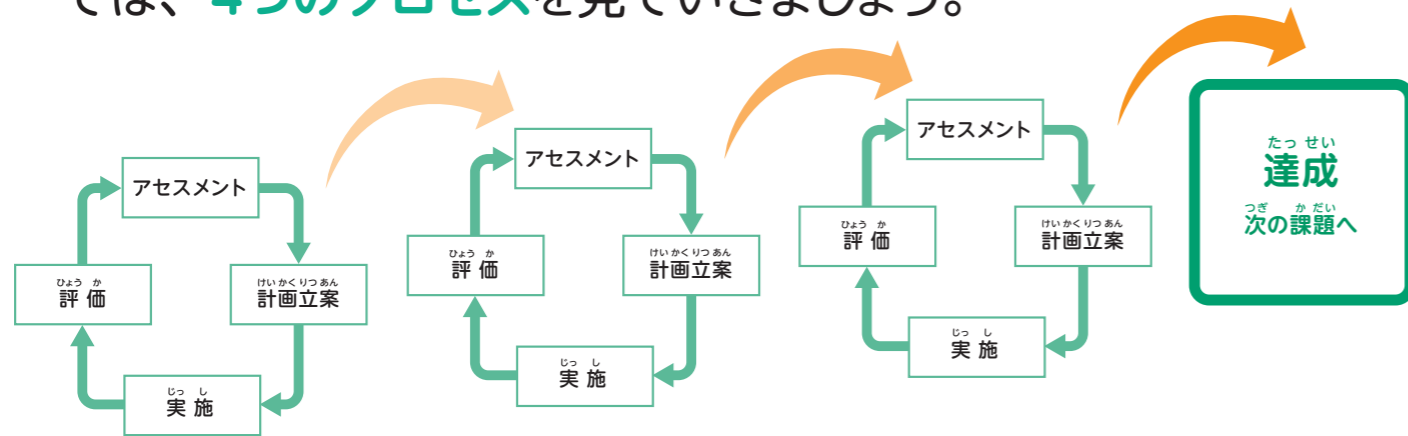
2. 介護過程のプロセス

介護過程には **アセスメント**、**計画立案**、**実施**、**評価**の4つのプロセスがあります。

介護過程は目標が達成されるまで、4つのプロセスを繰り返します。

*繰り返す：同じことを何度もすること

では、4つのプロセスを見ていきましょう。



アセスメント 心身の状態や今の生活で心配なことや楽しみにしていることなど、利用者が希望する生活をするために必要な情報を集めます。そして集めた情報を整理、分析して生活課題やニーズが何かを考えます。

*分析：物や起きた事の一つひとつに分けて、整理して、詳しく調べること

*課題：解決しなければならない問題

*ニーズ：必要なもの、必要なこと、したいこと、して欲しいことなど

計画立案 アセスメントでわかった生活課題やニーズを解決するために、どんな介護が必要かを考えます。利用者が希望する生活をするために、目標は何か、どんな支援を実施するか、介護福祉職・看護師・相談員など、利用者を支援するすべての人が分かるように具体的な計画を立てます。

*解決：問題がなくなるようにすること *実施：すること。法律、計画で決められたことをすること

*具体的：わかりにくいことなどを、例を出して説明すること *計画を立てる：計画を作る

実施 介護計画の通りに、支援を実施します。利用者に意向の確認をして、自立、安全、安楽の視点を大切に行います。また、実施したことは記録に残し、他の介護福祉職・看護師・相談員にも利用者の情報を共有できるようにすることも大事なことです。

*意向：「～しよう」という気持ちや考え *安楽：苦しくなくて、安心できること *視点：考え方

評価 支援を実施した記録を見て、目標は達成できたか、支援の方法は利用者に合っていたかなどを評価します。目標を達成していたら、次の課題に進みます。達成できなかったり、直さなければならないことが見つかったりした場合は、計画をもう一度考えます。そのためにはもう一度アセスメントが必要です。

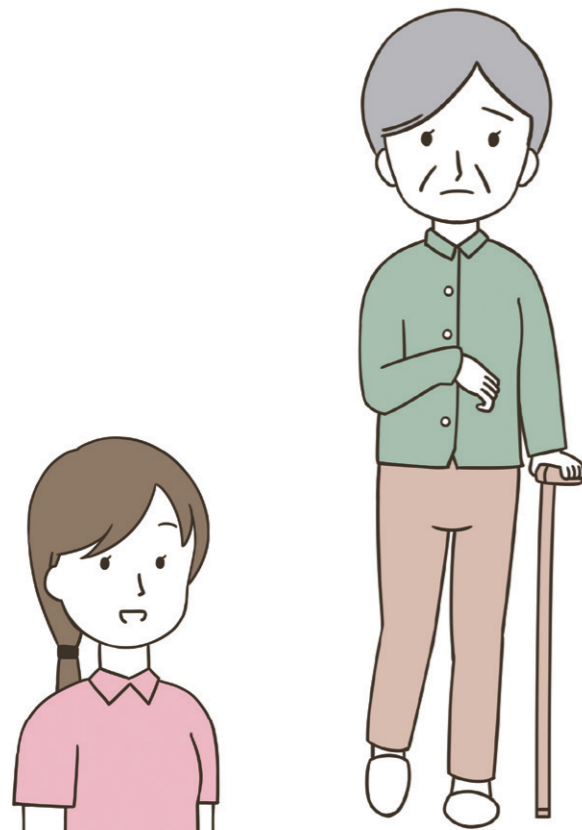
*評価：良いかどうか、役に立つかどうか決めること

このように「介護過程に基づいた介護」をすることで、利用者が希望する生活に近づくことができます。

3. 介護施設における介護過程の展開の事例

介護施設では、どうやって「介護過程に基づいた介護」をしているのでしょうか。具体的な例を使って考えてみましょう。今回登場する人達です。

登場人物の紹介



山田さん(78歳)

- 1か月前に、介護老人保健施設に入所した
- 脳血管疾患で、右麻痺がある
- 杖を使って歩いている
- 着替えは一部介助
- リハビリでは、立ち上がりや歩行訓練をしているが、最近、下肢の筋力が低下している
- できることは自分でやりたいと話している
- 週2回の入浴を楽しみにしている
- 早く自宅に帰りたと思っている

フォンさん

- EPA介護福祉士候補者
- 1年前から施設で働いている
- 山田さんを担当している

佐藤さん

- 介護福祉士
- 施設のユニットリーダー
- 新人職員の指導を担当している

*最近: 少し前から今まで。この頃 *下肢: 足 *低下する: 弱くなる

アセスメント【情報収集①】

入浴の場面から、山田さんが「希望する生活」を考えてみましょう。ある日、フォンさんは山田さんの入浴の時間を相談しに居室を訪ねました。

①山田さん、こんにちは。今日の入浴の時間は何時にしますか。

②そうねえ…入浴は気持ちよくて、気分が明るくなるから楽しみなんだけど…

③「入浴は楽しみだ」と言っていますが、他に何か伝えたいことがあるみたいですね。

④どうしましたか。

⑤前回、シャワーチェアからなかなか立てなくて困ったのよ。

じょうほうしゅうしゅう
アセスメント【情報収集②】

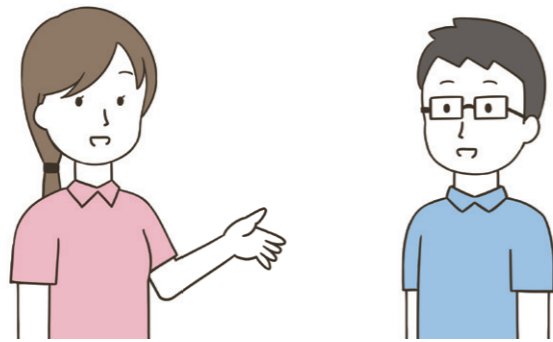


やまだ 山田さんは、入浴を楽しみにしているのに、
 よくそう 浴槽に入る時、シャワーチェアに手をついて
 たあ 立ち上がるのに時間がかかったから不安そうに
 しているのですね。



やまだ 山田さんは、どうして立ち上がることが
 たいへん 大変だったのでしょうか。

さとう 佐藤リーダーは山田さんのことを報告しました。



まずは山田さんの入浴に関する情報収集をしましょう。

- ① ほか 介護職員や他職種、やまだ 山田さんの家族にも最近の
 やまだ 山田さんの状況について聞いてみましょう。
- ② やまだ 山田さんの生活状況や動作を、よく観察してみましょう。
- ③ やまだ 山田さんにも、いろいろ話を聞いてみましょう。
- ④ これまでの記録も確認しましょう



わかりました!

じょうほうしゅうしゅう
アセスメント【情報収集③】

やまだ やまだ 山田さんや山田さんの家族に詳しく話を聞いてみます。



リハビリの調子はどうですか。
 リハビリは大変ですか。

よくそう 浴槽に入る時、
 たいへん 大変ですか。

やまだ 山田さんが安心して入浴するために、
 わたし 私たちがお手伝いできることはありますか。



そうねえ…



やまだ 山田さんはどんな入浴を
 きぼう 希望していますか。

はは 母は「体を動かすのが大変になってきたけど、
 できるだけ人のお世話にならないで
 入浴したい」と言っていました。



アセスメント【情報収集④】

やまだ かいご ほかに せんもんしよく はなし き
山田さんの介護にかかわる他の専門職にも話を聞きます。



フォンさん

ぜんかい やまだ にゆうよく ようす
前回の山田さんの入浴の様子はどうでしたか。

やまだ ざめん はして て
山田さんは座面の端に手をつけて
自分で立ちあがろうとしていました。
じぶん た
とても時間がかかって大変そうでした。
じかん たいへん



かいごしよくいん
介護職員



フォンさん

やまだ かし じょうたい おし
山田さんの下肢の状態を教えてください。

しゅう かい た あ
週に1回立ち上がりのリハビリを
していますが、最近少しずつ筋力が
さいきんすこ きんりよく
低下しているようですね。
ていか



しよくいん
リハビリテーション職員

アセスメント【情報収集⑤】

やまだ にゆうよく じょうほう せいり
山田さんの入浴の情報を整理します。

ひとり にゆうよく たの
一人でゆっくり入浴することを楽しみに
しています。入浴をすると気持ちがよくて、
きぶん あか はな
気分が明るくなると話しています。

やまだ たの
どうすれば山田さんが楽しく
にゆうよく かんが
ゆっくり入浴できるか考えて
みましょう。

ひとり すわ
一人で座っている
ことができます。

やまだ いま
山田さんが、今、
できることや難しく
むずか
なったことを確認
かくにん
してみましょう。

し えん かんが ひつよう じょうほう あつ
▶ 支援を考えるために、もっと必要な情報を集めましょう。

ねんれい さい
・年齢 78歳
せいべつ じよせい
・性別 女性
びょうき しょうじょう
・病気、症状など
①のうけつかんしつかん ②みぎまひ
脳血管疾患 右麻痺

きが よくそう はい ひとり おこな
着替えや浴槽に入ることは一人でっ
ています。

よくしつ いどう よくしつない て つか
浴室の移動は浴室内の手すりを使って
います。シャワーチェアから立ち上がる
ときは座面の端に手をつけて立ちます。
ざめん はして た

かいごしよくいんひとり みまも
介護職員一人が見守りをしています。
せなか あら
背中を洗ってほしいとき、介護職員に
こえ
声をかけます。

やまだ た あ かいごしよくいん
山田さんが立ち上がる時、介護職員
やまだ まひ みぎがわ みまも
は山田さんの麻痺がある右側で、見守
りをしています。

かいごしよくいん た あ てつだ
介護職員が立ち上がりを手伝おうとす
ると、「一人でできるわ」と言います。
ひとり い

やまだ にゆうよく
山田さんは「入浴のとき、シャワーチェ
アから立ち上がるのが大変なの」と話し
ています。
た あ たいへん はな

やまだ にゆうよく かんきょう かくにん
山田さんの入浴の環境を確認して
みましょう。

かんきょう まわりのようす
*環境：まわりの様子

アセスメント【情報収集⑥】

やまだ 山田さんが使っている浴室の環境を確認します。



よくしつない せんしん ぼしよ よくそう よこ
浴室内は、洗身する場所と浴槽の横の壁に手すりがあります。

せもたれ ひじ
背もたれと肘かけがないシャワーチェアを使っています。

こじんよう よくそう つか
個人用の浴槽を使っています。

アセスメント【情報収集⑦】

やまだ 山田さんの今の入浴の状態を整理します。

やまだ 山田さんの希望、こだわり

- ひとり 一人でゆっくり入浴したい
- よくしつ あんぜん たあ 浴室で安全に立ち上がりたい
- できることは自分でやりたい

やまだ 山田さんができること

- よくしつ いどう 浴室への移動
- ざい ほじ 座位の保持
- いすの ひじ 肘かけを使った立ち上がり
- こま 困ったときの介護職員への声かけ
- シャワーチェアから、よくそう いどう シャワーチェアから、浴槽への移動
- こじんよくそう にゅうよく 個人浴槽での入浴

やまだ 山田さんが難しいこと

- よくそう て 浴槽の手すりや、背もたれがないシャワーチェアからの立ち上がり
- か し きんりよく てい か 下肢筋力が低下していて、一人で立ち上がったり歩くことが難しくなった

やまだ 山田さんが使っている浴室の環境

- よくそう よこ かべ て 浴槽の横の壁に手すりがある
- せもたれ ひじ 背もたれと肘かけがないシャワーチェアを使っている

*こだわり：とても気になっていること。自分で決めたことを必ずしよとすること
 *保持：同じ状態を続けること

アセスメント【情報収集⑧】

あつ じょうほう
集めた情報をアセスメントシートにまとめます。

ほんにん じょうきょう ないよう 本人の状況・ケア内容			
よくそう しゅるい 浴槽の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 個人浴槽	<input type="checkbox"/> 大浴槽	<input type="checkbox"/> リフト浴 <input type="checkbox"/> 機械浴 <input type="checkbox"/> 中間浴槽 <input type="checkbox"/> シャワー浴 <input type="checkbox"/> その他
せんぱつ 洗髪	<input type="checkbox"/> 自立	<input checked="" type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
せんしん 洗身	<input type="checkbox"/> 自立	<input checked="" type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
せいしき ぶぶんよく 清拭・部分浴	<input type="checkbox"/> 物品の準備・後始末	<input type="checkbox"/> 全身清拭	<input type="checkbox"/> 手浴・足浴 <input type="checkbox"/> 陰部洗浄
ようかい ごしゃとう けんこうじょう せいかつじょう もんだいてんおよ かいけつ かだいとう 要介護者等の健康上や生活上の問題点及び解決すべき課題等			
もんだいてん かいけつ かだいとう 問題点や解決すべき課題等	あり	りつあん 立案	くたいきないよう たいおう 具体的内容/対応するケア項目
① ほんにん うった ようぼう 本人の訴えや要望	○		① 一人でゆっくり入浴したいとの希望があり、個人浴槽を使用している。
② かぞく うった きぼう 家族の訴えや希望			
③ いりょうめん しじ かんりとう 医療面での指示・管理等			④ 下肢筋力の低下から、現在使用しているシャワーチェアに手をつけて立ち上がり、浴槽に入る動作が難しくなっている。そのため、移動をするときは、介護職員が見守りを行っている。
④ いじょう いどうめん もんだいとう 移乗・移動面での問題等	○		
⑤ せんしん せんぱつどう さめん もんだいとう 洗身・洗髪動作面での問題等	○		
⑥ にゅうよくかいすうめん もんだいとう 入浴回数面での問題等			⑤ 背中を洗うときは介護職員が一部介助を行う。
⑦ しんたい せいけつめん もんだいとう 身体の清潔面での問題等			⑧ 使用しているシャワーチェアに背もたれと肘かけがなく、立ち上がりや洗身の時に不安定になることがある。
⑧ ほか もんだいとう その他の問題等	○		

※このアセスメントシートは一例です。
「アセスメントシート」の名前や形は介護施設によって違います。

施設で使っているアセスメントシートも確認してみましょう。

アセスメント【課題分析・課題の明確化】

あつ じょうほう ぶんせき やまだ にゅうよく かん かだい めいかく
集めた情報を分析して山田さんの入浴に関する課題を明確にします。

じょうほう 情報	ぶんせき 分析	せいかつ かだい 生活課題
① 一人でゆっくり入浴したい ② できることは自分でやりたい ③ 安定した座位保持ができる ④ リハビリをしているが、だんだん下肢筋力が低下している ⑤ 浴室では背もたれと肘かけのないシャワーチェアを使っている ⑥ いすや壁の手すりにつかまっても、立ち上がるのは難しい ⑦ シャワーチェアから立ち上がる時、介護職員が手伝うと言うと、「一人でできる」と言う	③④⑤⑥ リハビリを実施しているが、だんだん下肢筋力が低下している。前よりも入浴の時の立ち上がりが大変になっている。 現在の身体状態で、背もたれと肘かけのないシャワーチェアから立ち上がるのは難しい ①②⑦ 介助を断るのは、できることは自分でやりたいと思っているからだと考えられる。本人の気持ちを大切にしたい支援が必要 ④⑤⑥ 立ち上がる時、無理な姿勢になって、転倒など事故が起きるかもしれない。事故になると、身体状態がもっと低下するかもしれない。 ゆっくり入浴したい、できることは自分でやりたい、という気持ちが低下して、生活の楽しみや意欲が低下することがある	現在の身体状態に合わせた入浴の介護が必要 入浴環境を見直す 見守り方法を改善して、安全で山田さんが希望する入浴、生活の支援が必要



フォンさん

いま やまだ じょうたい きぼう かんが かいごしよくいん かい
今の山田さんの状態や希望を考えると、介護職員が介
助するより、山田さんがひとりで安全に立ち上がれる環
境を作った方が良くと思います。

そうですね。山田さんにとってどんな入浴の環境が良いか考
えてみましょう。まず、目標を決めましょう。



さとう
リーダー

*現在：今 *見直す：もう一度、見る。もう一度考える

*改善：直して良くすること *断る：しなくても良いという。いやだという

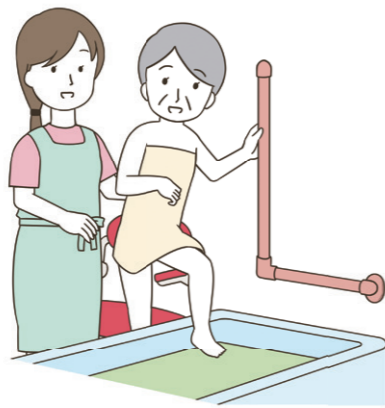
かいごけいかく りつあん
介護計画の立案

やまだ さん 安全にゆっくり入浴ができることを目標に、次のよう
な支援を計画します。

① 背もたれ、肘かけがあるシャワーチェアに変更します。



② 山田さんが立ち上がる時、ふらつきなどがあつたら、介護職員は山田さんを支えられる所(山田さんの右側)で見守りをします。



フォンさんは、支援の変更を山田さんに提案して、山田さんも同意してくれました。

*提案: 意見や考えを出すこと。意見や考えを言うこと *同意: 同じ意見

かいごけいかく りつあん
介護計画の立案

やまだ さん 安全にゆっくり入浴ができることを目標に、介護計画
書を作ります。

せいかつ かいご 生活課題	たんき もくひょう 短期目標	しえんないよう ほうほう 支援内容・方法
げんざい しんたいじょうたい あ 現在の身体状態に合わせた入浴の介護が必要	あんぜん 安全にゆっくり入浴ができる	1. シャワーチェアの変更 1) 背もたれと肘かけのあるシャワーチェアに変更する 2) 使用するとき、山田さんの様子を観察して、記録する 頻度: 入浴のとき、毎回
にゅうよくかんきょう みなお み 入浴環境の見直しと見守り方法を改善して、安全で本人が希望する入浴、生活の支援が必要		2. 立ち上がる時の見守り 1) 山田さんの右側で見守りをする 2) 立ち上がりやすい姿勢になっているか、山田さんと一緒に確認をする ・シャワーチェアに浅く座っている ・足を後ろに少し引いている 頻度: 入浴のとき、毎回。立ち上がりするとき

*この介護計画書は一例です。介護計画書の名前や形は介護施設によって違います。

施設で使っている介護計画書も確認してみましょう。

実施

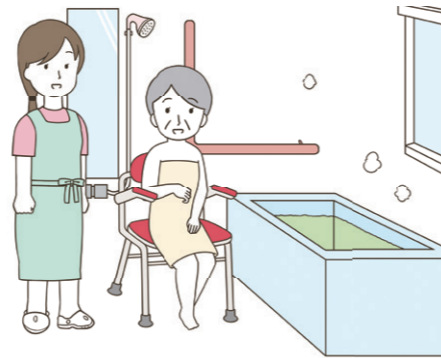
介護計画書の通りに山田さんの入浴の支援をします。

支援をするとき、確認すること➡

- ①シャワーチェアは使いにくいかな
- ②立ち上がりは安定しているかな
- ③山田さんは新しい支援の方法をどう思っているかな

山田さん、浅く座って足を少し後ろに引くと立ちやすいですよ。

足を後ろに引いていますか。



立ち上がり前

お push しているの、大丈夫ですよ。

ふらつきなどはないですね。左手は肘かけをつかんでいますか。



立ち上がり時

シャワーチェアは使いやすいそうです。初回は安全に入浴ができましたね。

良かったです!



立ち上がり後

実施・評価

介護計画書の通りに実施したことを記録して評価します。

実施状況	評価
<p>1. シャワーチェアの変更</p> <p>1) 背もたれと肘かけのあるシャワーチェアに変更する。 初めて使用する前に、高さを調整した。山田さんに確認しながら調整を行った。深く座ったときに、両足が床につく高さにした。山田さんは「安心だわ」と言った。</p> <p>2) 使用したときの本人の様子を観察して、記録する。 初めて使用したとき:座るとき、肘かけにつかまりながら座った。介護職員は、山田さんが座るときと立ち上がる時、シャワーチェアを押さえた。「お push しているの、大丈夫ですよ」と声をかけるとなずいた。肘かけにつかまって立ち上がった。ふらつきや無理な前傾姿勢はなかった。</p> <p>2. 立ち上がり時の見守り</p> <p>1) 山田さんの右側で見守りをする。 初めてのとき:立ち上がる時、山田さんの右側に立って、シャワーチェアを押さえながら見守りをした。</p> <p>2) 立ち上がりやすい姿勢になっているか、山田さんと一緒に確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャワーチェアに浅く座っている ・足を後ろに少し引いている <p>初めてのとき:山田さんに浅く座ってもらった。肘かけにつかまりながら行っていた。次に足を後ろに引いているか声かけで確認をした。山田さんはうなずいた。</p>	<p>入浴日より前にシャワーチェアを見てもらって、高さを調整したので、新しい環境でも安心して入浴することができた。</p> <p>シャワーチェアは安定していたが、介護職員が押さえていることで、本人も安定していると感じたようだ。</p> <p>立ち上がる時に、ふらつきや無理な姿勢は見られなかった。</p>

ひょうか 評価

かいご けいかく じっし げつ た じっし ないよう ひょうか
介護計画の実施から1か月経ったので、実施内容の評価をします。

- やま だ あんぜん にゅうよく もくひょう
山田さんが安全にゆっくり入浴できるという目標
が達成できたでしょうか。
- りつあん けいかく とお じっし
立案した計画の通りに実施できたでしょうか。
- やま だ きぼう とお にゅうよく
山田さんは希望の通りに、入浴できるようになった
でしょうか。
- やま だ あんしん にゅうよく
山田さんが安心して入浴するために、もっとできるこ
とがあるでしょうか。



フォンさんは、やま だ きぼう せいかつ じっし
山田さんが希望する生活をするために、実施し
たことを振り返りました。そして他 職 種 や 本人・家族とも相談
しながら、ふ かえ もと つぎ しえん
振り返ったことを基にして、次の支援をしていきます。

*振り返る：これまで自分がしたことについて、よかったかなど かんが
考えること

4. おわりに

かいご かてい り かい
介護過程が理解できましたか。

みな りようしゃ おこな かいご かいご けいかく もと
皆さんがいつも利用者に行っている介護が、介護計画を基にし
ていること、そして皆さんが介護の後に 行って いる記録や報告が、
アセスメントや ひょうか になっていくことが理解できたと思います。

* 行う：する

かいご かてい かいご ふくし し り かい かんが かた
介護過程は、介護福祉士としてしっかり理解してほしい 考え方
です。「介護過程に基づく介護」ができるようになると、利用者が
きぼう せいかつ ちか しえん
希望する生活に近づくための支援ができるようになります。

かいご かてい かいご ふくし し こっ か しけん しゅつだい かもく
また、介護過程は介護福祉士国家試験に出題される科目のひ
とつです。かいご かてい べんきょう こっ か しけんごうかく
介護過程について勉強することで、国家試験合格に
ちか
も近づくことができます。

かいご かてい べんきょう り かい おも
もっと介護過程について勉強したい、理解したいと思ったら、
みな しせつ つか りようしゃ かいご けい
皆さんの施設で使われている利用者のアセスメントシートや介護計
かくしよ よ
画書を読んでみましょう。

みな いま りようしゃ おこな かいご ひと
皆さんが今、利用者に行っている介護の一つひとつが、しっか
りとした根拠に基づいて行われていることが分かるはずです。

* 根拠：こんきよ こうどう ほんだん り ゆう こうどう
行動や判断の理由 * 行動：するこゝと * 判断：よいかどうか決めること

つぎ おも
次のページに続く



「介護過程に基づいた介護」をするためには、一つひとつの介護の根拠を考 えながら仕事をする必要があります。

また、皆さんが介護導入研修 で使った「介護導入研修 テキスト」にも対訳付きで介護過程のことが詳しく載っていますので、読んでみてください。

介護過程の全てを理解して介護を行うことは、今は難しいかもしれませんが、利用者が希望する生活を支援することができるように、勉強を続けてください。皆さんが利用者や他の職員から「求められる介護福祉士」になれることを心から応援しています。

*「求められる介護福祉士像」は、介護導入研修 テキスト第3章 1-1にも説明がありますので、読んでください。

こちらのQRコードから手引きの英語版・インドネシア語版・ベトナム語版をダウンロードすることができます。



令和4年度 老人保健健康増進等事業

EPAに基づく外国人介護福祉士候補者が受入れ施設で習得する介護技術の統一的な評価方法を確立するための調査研究

－ 検討委員会 委員名簿 －

(敬称略 座長を除き五十音順)

	氏名	所属・役職
座長	白井 孝子	学校法人 滋慶学園 東京福祉専門学校 副学校長
委員	井口 健一郎	社会福祉法人 小田原福祉会 理事 特別養護老人ホーム 潤生園 施設長
委員	今村 文典	公益社団法人 日本介護福祉士会 副会長
委員	鎌田 裕子	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事・常務執行役員
委員	櫻井 博規	公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 介護人材対策委員会 外国人介護人材対策部会 部会長
委員	品川 智則	学校法人 東京YMCA学院 東京YMCA医療福祉専門学校 介護福祉科 専任教員
委員	津田 理恵子	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 教育力向上委員会委員 学校法人 行吉学園 神戸女子大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授
委員	二瓶 さやか	学校法人 十文字学園 十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授
委員	橋本 由紀江	一般社団法人 国際交流&日本語支援Y 代表理事
委員	原口 道子	公益財団法人 東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病ケア看護ユニット 主席研究員
委員	光山 誠	公益社団法人 全国老人保健施設協会 人材対策委員会 副委員長 医療法人 敬英会 理事長

オブザーバー：厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室
事務局：公益社団法人 国際厚生事業団

EPA介護福祉士候補者が 介護過程を理解するための手引き

— 2023年3月発行 —

発行 公益社団法人 国際厚生事業団 国際・研修事業部
住所 東京都中央区銀座7丁目17-14 松岡銀七ビル3F

本手引きは、令和4年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「EPAに基づく外国人介護福祉士候補者が受入れ施設で習得する介護技術の統一的な評価方法を確立するための調査研究」において作成されたものです。
